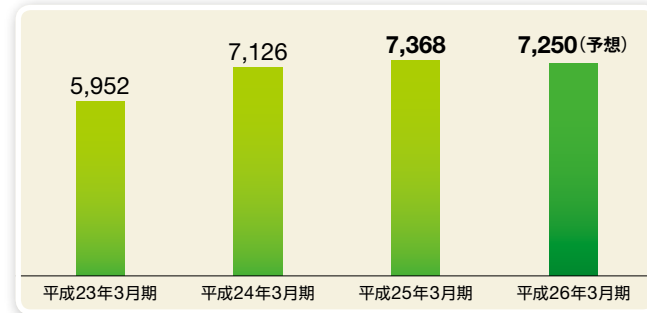
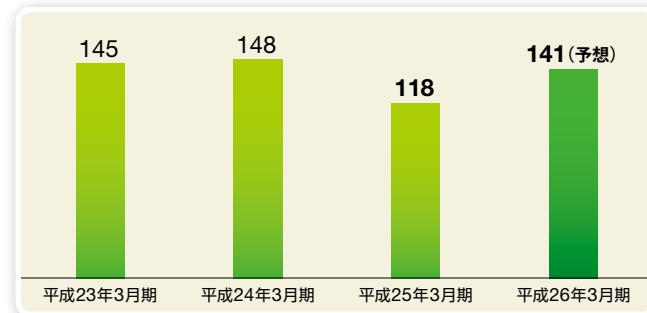


連結業績ハイライト / 経営概況

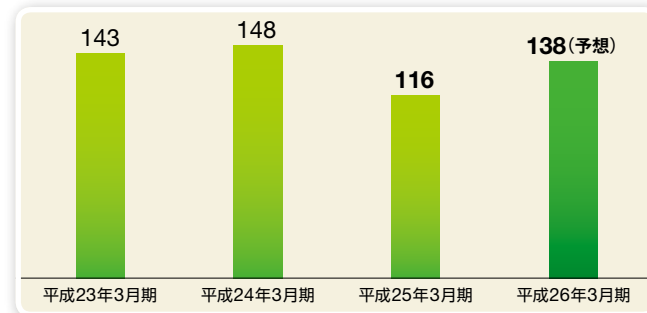
売上高 (億円)



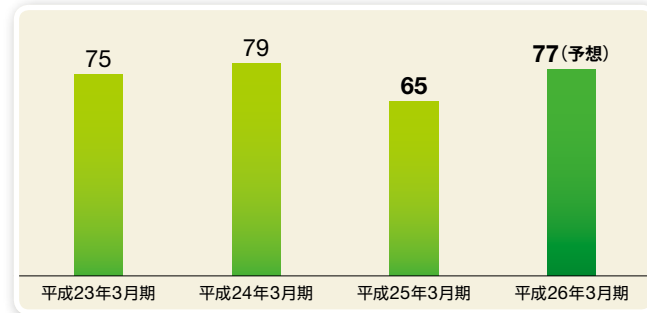
営業利益 (億円)



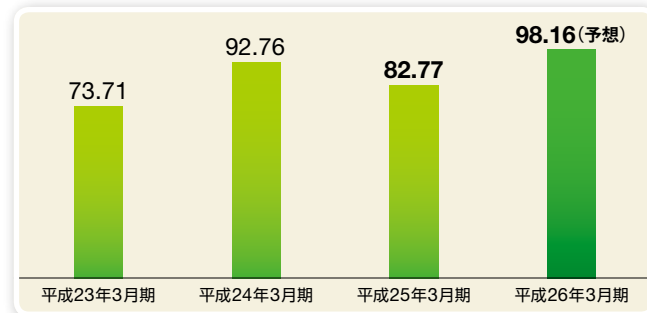
経常利益 (億円)



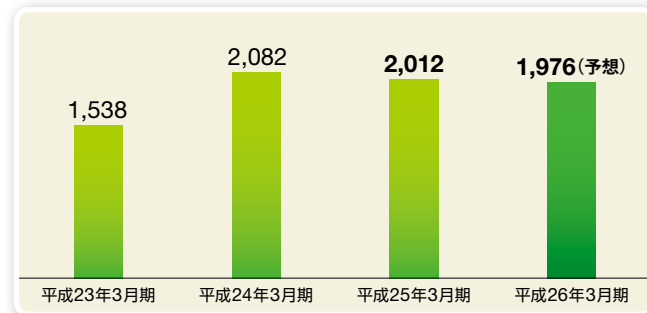
当期純利益 (億円)



1株当たり当期純利益 (円)



総資産 (億円)



※平成23年3月期の数値につきましては、参考情報として単体数値を記載しております。
 ※平成25年3月期の1株当たり当期純利益につきましては、平成24年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。
 平成24年3月期以前の数値につきましても、当該株式分割の影響を加味し、遡及して算定しております。

平成25年3月期の業績

当期におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興等により緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務問題や中国をはじめとするアジア経済の減速等により、先行きは依然として不透明な状況にありました。しかしながら、政権交代以降の積極的な金融政策や経済対策により、円安・株高傾向が進む等、景気回復に向けた明るい兆しも見え始めております。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、引き続きスマートフォンが市

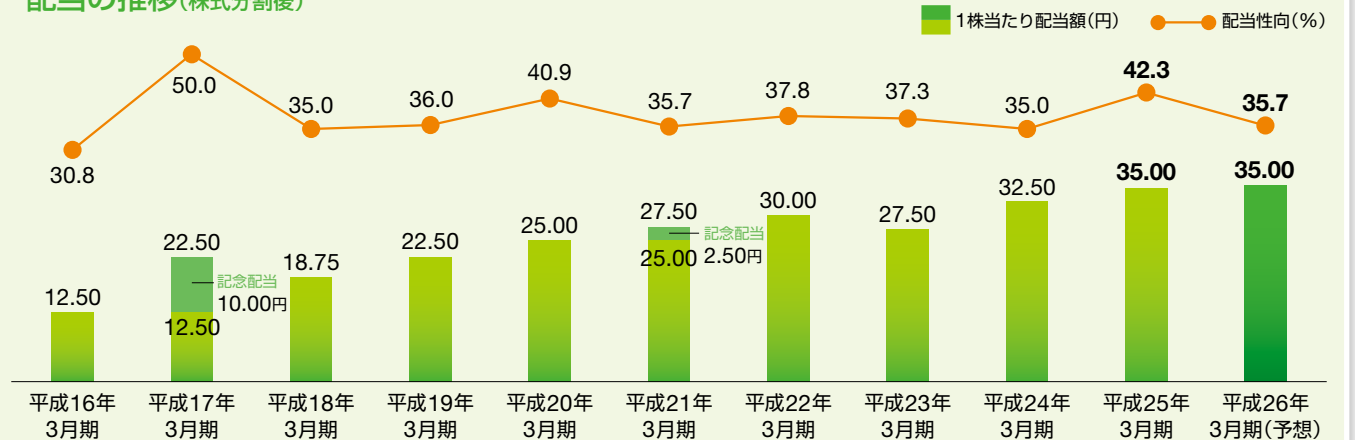
場を牽引し、端末の高機能化やLTE(次世代高速通信)サービス等のネットワーク環境の整備が進む中、市場は堅調に推移いたしました。このような事業環境下、当社グループはスマートフォンを中心に販売活動に注力した結果、携帯電話販売台数は625万台となり、スマートフォンの販売比率は7割弱まで上昇いたしました。この結果、当期における業績は、売上高7,368億50百万円、営業利益118億7百万円、経常利益116億91百万円、当期純利益65億86百万円となりました。

平成26年3月期の見通し

スマートフォンの普及に伴う周辺商材・各種サービスの販売増加、電子決済サービスの需要拡大に加え、当期に取り組んだ販売チャネルの最適化や業務効率化等の効果を見込んでおります。一方、通信事業者の営業方針や手数料体系変更への対応に加え、更なるお客様満足度向上に向けた店舗の移転・改

装、販売スタッフの拡充と教育・研修に投じる費用等を考慮し、売上高7,250億円(前期比1.6%減)、営業利益141億円(同19.4%増)、経常利益138億円(同18.0%増)、当期純利益77億50百万円(同17.7%増)を予想しております。

配当の推移(株式分割後)



※平成24年3月期以前の数値につきましては、平成24年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。